和歌山マスターズニュース

2016年1月号 №44

〒640-8355 和歌山市北ノ新地1-25 富士火災和歌山ビル2F
NPO法人 和歌山マスターズ陸上競技連盟
TEL/FAX 073-432-1041
ホームページ http://www.geocities.jp/w_masters2004/

謹んで新しい年をお祝い申し上げます

2015年を振り返って

2月22日「第21回近畿マスターズ駅伝大会」開催

同日、総会を開催

選手宣誓の平林選手

山崎選手(写)が区間賞

第21回近畿マスターズ駅伝大会

県男子Aチームが4位

5部門42チーム激走 一般は和歌浦走友会Aが制す

第21回近畿マスターズ駅伝大会が22日、紀三井寺公園陸上競技場と周辺特設コースで開かれ、5部門（一般も含む）合わせて42チームが、たすきをつなぐ熱い戦いを繰り広げた。会員参加の4部門に7チーム編成で臨んだ地元の県チームは、女子チームのアンカーを務めた山崎知香選手が区間賞に輝いた他、マスターズの部（男子）でAチームが4位と健闘した。会員外でも参加OKの一般の部では、和歌浦走友会Aが独走で優勝を飾った。

暖かいぽかぽか陽気で、公園内には桜がちらほら咲き始めるなか、「南国和歌山」の魅力が席巻で大阪Aとトップが奮闘。3区を任された中村俊之選手が区間1位だった。

一般の部には、和歌浦走友会や和歌山ランニングクラブ会の地元チームが参加し、会場を和やかに盛り上げた。県チームの全選手は、昨・国体成功に向けて手づくり鉢巻きを着用。レースを通してこと、開催される紀の国わかやま国体のアピールにもひと役かっていた。

区間賞の賞状を手に山崎選手は「地元の大会で賞が取れてうれしい。レースは楽しく走れた」と笑みがこぼれた。県勢の各レース結果は次の通り（区間記録は

ションで迎えた大会は、2府4県から多くの選手や家族が訪れた。

競技は会員限定の4部門と一般の部で行われ、マスターズの部を反切りに、ベテラン選手たちのハッスルランが幕を開けた。1区で兵庫、県Cチームが3位とオープンの部では、2区で滋賀A、3区で大阪Aとトップが奮闘。3区を任された中村俊之選手が区

戦は滋賀Aが優勝を飾り、県Aチームはトップ争いにあと一歩届かず4位だった。

女子の部では、アンカーの山崎選手が手は、昨・国体成功に向けて手づくり鉢巻きを着用。レースを通してこと、開催される紀の国わかやま国体のアピールにもひと役かっていた。

区間賞の賞状を手に山崎選手は「地元の大会で賞が取れてうれしい。レースは楽しく走れた」と笑みがこぼれた。県勢の各レース結果は次の通り（区間記録は

上位を目指したすきをつなぐ県女子チーム

女子4区で区間賞を獲得した山崎選手

マスターズ（男子）の部は13チームが熱戦

4月26日 近畿合同練習会（大阪、服部緑地）

鈴木さん家族、
川島さんご夫婦が参加

6月14日
「紀の国わかやま国体記念大会」開催
於 田辺スポーツパーク

堀井さんご夫妻が立五段跳で日本記録樹立

7月11日「第83回 和歌山県陸上競技選手権大会」に
2チームが4×100mRに出場
福山佳宏親子（明和中学校）対決が和歌山新報に掲載された。
審判功労賞に岩﨑竹晴さんが表彰される。

8月4～16日 フランス・リヨン世界大会に
中川さん、鴻池さん出場

2015年(平成27年)9月1日(火曜日)

生涯現役 金まで駆ける

85歳中川さん銀

橋本市野の中川西明さん（85）は、「世界マスターズ陸上」（8月末、仏リヨンで開催）に出場し、2位になった。8月末、仏リヨンで開催された「世界マスターズ陸上」に橋本市野の中川西明さん（85）が出場し、2位になった。8月末に同市原市の約1、2キロ先で、「走ったり、歩いたりしてました」と話す。

77歳鴻池さん20回連続出場

世界マスターズ陸上

9月5日 桃源郷陸上競技場において
合同練習会開催

10月12日 第31回 近畿マスターズ選手権大会
貴志栄子さんが敢闘賞受賞

10月17～20日
第28回全国健康福祉祭やまぐち大会（ねんりんピックに
岩﨑さん、中前さん、山本さんが出場

10月30日～11月1日
第36回全日本マスターズ選手権大会に21名出場

11月15日 第38回和歌山マスターズ陸上競技選手権大会　243名エントリー
最優秀西田賞、坂口昇一さん、県内男子優秀賞、富永大樹さん
県内女子優秀賞、村上初美さん

スポーツ新報

福山親子がリレーで対決

県陸上競技選手権大会

第83回県陸上競技選手権大会（国体選手選考会）・近畿選手権大会県予選会が10日から3日間にわたり、紀三井寺公園陸上競技場で開かれるが、四×百㍍リレーで親子対決が話題を集めている。

中学生から高校、大学、一般まで年齢区分のない同選手権ならではのマッチレースで、対決するのは市内和歌浦在住の福山佳宏さん（41）と息子で明和中2年の斗偉君。

佳宏さんは、中学から大学まで短距離選手として活躍。自己ベストは百㍍11秒0のスプリンターで、39歳から練習を再開。中学生の頃の陸上競技大会県大会では、2年百㍍で11秒72と力走し優勝。

組み和歌山マスターズとして、大会に臨む。斗偉君は明和中のリレーメンバーで、5日に実施された全日本中学校通信陸上競技大会県大会では、2年百㍍で11秒72と力走し優勝。

四×百㍍リレーではアンカーを務めた。佳宏さんもアンカーを任されているだけに「予選がもし同じ組になれば最高だが、走りでは負けない自信がある」と意欲満々で、斗偉君も「僕のパワーで抜かして、世代交代を決めたい」と決して負けない闘志を燃やし、早くも親子対決の火花を散らせていた。

同選手権の男子四×百㍍リレーは大会2日目の11日に行われる。

ともに闘志を燃やす福山佳宏さん㊨と斗偉君

インターネットで掲示板を行っています。
各種のお知らせや会員相互の親睦の場として賑わっています。
← http://8250.teacup.com/wmamb/bbs　　パスワードは、「wakayama」です。
投稿はクラスと実名でお願いします。 是非、覗いて見て下さい。

総会　2016年2月13日16:30～ ビッグ愛9Fにて総会を開催します。